



枸杞(くこ)

花言葉…お互いに忘れましょう、誠実など

夏から秋にかけて紫色の花が咲き、そのあとで赤い柔らかい実がなり食べられる。この実を酒や焼酎に漬けて「クコ酒」にする。根の皮は解熱や強壯薬にもなる。根は、「地骨皮」という漢方薬になる。中国と日本では古くは「沼美久須利(ぬみくすり)」と呼ばれるほど薬として有名で、栽培も盛んだった。

花のお便り

2015.9 No.111

E-mail : info@miyazaki-p.co.jp

http://www.miyazaki-p.co.jp/

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

若者のデモが新聞・テレビに登場する。ドラムや楽器を鳴らし、ラップ調のコールが響く。このスタイルは4年前の福島第二原発の事故以来だが、世代のギャップからか、当初は馴染めなかったが、今は好意を寄せるようになった。近頃は高校生も参加して「戦争にいかない」とのデモが日本各地で行われている。市民権を得た感もあるデモは、私たちの世代からバトンが渡ったと見てよいのか。



収益が出るチラシ印刷を作成いたします

宣伝広告でまず頭に浮かぶのが、チラシ・ポスターの類となります。近頃はバナー広告を初めウェブ上での宣伝も大きな市場となっています。デジタル化の波が押し寄せる中でも、アナログの紙媒体の優位性は揺るぐことはありません。何といてもチラシは、不特定多数に視認性よくアタック出来ることです。しかも、新聞折込・ポスティング・ダイレクトメール・駅などで手渡しと、多彩な手法で多くの人に見てもらうことも強みです。しかし、多くのライバルと競争し、選んでもらえる作戦が必要となります。それには、ターゲットの絞込み、来店してもらう仕組み作り、デザイン、キャッチコピー、効果的な配布方法などを考えることが決定的に重要です。



疑問に答えます。⑩用紙持ち込みで印刷はできますか

答えは様々なケースがあり、印刷会社によって相違が出来ます。弊社の場合を想定してお答えいたします。基本的にはできますが、支給されるデータの内容、用紙が印刷に適しているかが前提として問われます。それでは、まずは出来るものから、単色の印刷物(枚数制限あり)、4色(カラー)の枚数が少ない(500枚以下)印刷物。出来ないものは、枚数の多い(500枚以上)4色の印刷物です。詳しい内容は専門的になりますので、説明にはスペースが足りません。疑問がどうしても知りたい方はご連絡ください。



気まぐれエッセイ 焼き岩牡蠣が黒焦げに

今年も一週間の東北釣り旅行にいった。今年のは釣りをしたのは2日のみで、多くは観光旅行と言える。山形の山寺に始まり、鶴岡の海月の水族館、能代のフレンチレストラン、八甲田のロープウェイ、日替わりの温泉などとても釣り旅行などとはいえない。色々ありましたが、旅の途中で巡り会ったのが、山形の道の駅の新鮮な岩牡蠣、料金も500円と格安。まずは生で食べるのが一番と言っても、私は二度ほど牡蠣と格闘しているので辞退。三人が美味しそうに食べるのを横目に、毒ずきながら焼き魚を食べる。焼き牡蠣用にも買い込みキャンプ場

へ。テントを張り温泉で汗を流し、火を起こしおき炭を作り、待望の岩牡蠣を網の上に置くが、それを待っていたかのように猛烈な夕立に見舞われる。ひとまずテントの中へ、見ると雨にも負けず火は健気にも灯っている。雨がやんだのを見計らい再び挑戦するが、焼き時間を聞かなかったことを悔やむ。あたりは暗くなり目安も分からず焼くが、すでにジュウジュウと湯気も出て、外側は真っ黒となっているようだ。さらに殻を開けるのに一苦勞、中はすでに水分は無く、殻にへばりついたカサカサの牡蠣が出現、その味の何とほろ苦かったことか。